

諏訪湖環境研究センター（仮称）のあり方（案） 修正箇所について

頁	修正後	修正前（R2.3.11 付け文書照会時）
1 頁	<p>I 設置検討の背景 （略）</p> <p>また、マイクロプラスチックによる環境への影響など新たな課題も生じており、今後はより一層政策の<u>形成に寄与する</u>調査研究への取組が必要となっている。</p>	<p>I 設置検討の背景 （略）</p> <p>また、マイクロプラスチックによる環境への影響など新たな課題も生じており、今後はより一層政策に<u>つながる</u>調査研究への取組が必要となっている。</p>
2 頁	<p>II 課題</p> <p>3 連携に関する課題</p> <p>(1) （略）</p> <p>(2) 各機関の取組の<u>コーディネート機能</u>の発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>県</u>が行う研究だけでなく、<u>大学</u>をはじめとする他の研究機関が行う研究などが<u>県の政策に寄与する</u>ことが重要となるが、現状では、<u>関係機関の取組をコーディネートする</u>機関がない。</li> </ul>	<p>II 課題</p> <p>3 連携に関する課題</p> <p>(1) （略）</p> <p>(2) 各機関の取組を<u>つなぐ</u>コーディネート機能の発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>県</u>の行う研究だけでなく、<u>大学</u>をはじめとする他の研究機関が行う研究などを<u>県の政策実現につなげる</u>ことが重要となるが、現状では、<u>関係機関の取組をつなぐ</u>コーディネート機能を有する機関がない。</li> </ul>
3 頁	<p>IV センターの目指す姿</p> <p>センターは、①調査研究機能、②学び・情報発信の機能、③連携の機能の3つの機能を発揮することとし、目指す姿は次のとおりとする。</p>	<p>IV センターの目指す姿</p> <p>センターは、①調査研究機能、②学び・情報発信の機能、③連携の機能の3つの機能を発揮することとし、目指す姿は次のとおりとする。</p>
	<p>1～3 （略）</p> <p>4 研究や学びのネットワークを形成し、総合的に取組を推進するための<u>コーディネート機能</u>を担う</p>	<p>1～3 （略）</p> <p>4 研究や学びのネットワークを形成し、総合的に取組を推進するための<u>ハブ機能</u>を担う</p>
4 頁	<p>⑦ <u>研究成果</u>の共有化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>県</u>機関、<u>信州大学</u>、<u>国機関</u>（河川事務所 等）が保有する水質・生態系に関する<u>データや研究成果の文献目録</u>を作成し、<u>データベース化</u>（システム化）</li> </ul>	<p>⑦ <u>データ</u>の共有化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>県</u>機関、<u>信州大学</u>、<u>国機関</u>（河川事務所 等）が保有する水質・生態系に関する<u>データの文献目録</u>を作成し、<u>データベース化</u>（システム化）</li> </ul>

頁	修正後	修正前 (R2.3.11 付け文書照会時)
4 頁	<p>2 諏訪湖をはじめとする県内河川・湖沼等の水環境保全に関する情報発信の拠点とする (略) 〈実現に向けた具体的方策〉</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① 一元的な情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報担当職員の配置などにより、各機関が行う河川・湖沼等の調査研究の内容のほか、各団体・機関の行う情報についても<u>一元的に発信</u></li> </ul> <p>(略)</p> <p>② 研究成果の公開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 過去からの蓄積を含めた諏訪湖の水質等に関する<u>データや研究成果の幅広い発信</u></li> </ul> <p>(略)</p> </div>	<p>2 諏訪湖をはじめとする県内河川・湖沼等の水環境保全に関する情報発信の拠点とする (略) 〈実現に向けた具体的方策〉</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① 一元的な情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報担当職員の配置などにより、各機関が行う河川・湖沼等の調査研究の内容のほか、各団体・機関の行う情報についても<u>一元的にとりまとめ、発信</u></li> </ul> <p>(略)</p> <p>② 研究成果の公開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 過去からの蓄積を含めた諏訪湖の水質等に関する<u>データの幅広い発信</u></li> </ul> <p>(略)</p> </div>
5 頁	<p>4 研究や学びのネットワークを形成し、総合的に取組を推進するための<u>コーディネート機能</u>を担う</p> <p>○諏訪湖に関する調査研究、情報発信、学びの支援等の取組の全てをセンターが担うことは現実的ではないことから、大学や他の研究機関との共同研究に取り組む他、市町村、国機関、大学、民間企業等様々な機関が実施する水環境保全に関する活動を<u>ネットワーク化するなど、総合的な取組みを推進するためのコーディネートの役割を果たす。</u></p>	<p>4 研究や学びのネットワークを形成し、総合的に取組を推進するための<u>ハブ機能</u>を担う</p> <p>○諏訪湖に関する調査研究、情報発信、学びの支援等の取組の全てをセンターが担うことは現実的ではないことから、大学や他の研究機関との共同研究に取り組む他、市町村、国機関、大学、民間企業等様々な機関が実施する水環境保全に関する活動を<u>つなげ、県の政策実現に活かすためのコーディネートの役割を果たす。</u></p>